

令和7年 5月21日

派遣成果報告書

有田市議会議長 様

議員氏名 脇村 隆生

有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	予算と決算における基礎知識
研修期間	令和7年5月16日（金）
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所（大津） 2 市町村職員中央研修所（千葉） 3 地方議員研究会（ ） ④ その他（株式会社 廣瀬行政研究所）
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。

※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

別紙

本研修で、予算決算における基礎的な知識を身につけることができた。
今までは一つ一つわからない言葉を調べながら、各予算の中身を見ていくという対応だったが、体系的に成り立ちを知れて理解が深まったと感じる。

予算、決算、予算の流れを掴む事が重要だと感じた。

予算については、税金の成り立ちから、交付金や寄付等歳入の種類についても学ぶ事ができた。予算がどのように作られるかの基礎的な部分であったが、決算をどう見るかを念頭に読めば着目点が変わるように思う。

決算については、成果の検証を行う上で重要なものとの認識を強めることができた。
決算審査意見書は識者の作成したものではあるが、前向きな内容になることが多いので、注意して読むことが重要である。

過去データの推移の見方も学んだ。

扶助費の増、投資的予算の減、人件費の減等のトレンドを掴むことで、
扶助費は子供のための予算、人件費は正規職員が減少している等の分析が可能となる。

財務分析の指標についても様々なアプローチで考える事ができると学ぶ事ができた。
総務省の出している決算カードは他市との比較が容易で、単年度収支を確認できる。
有田市の経常収支比率は **100%**を超えているため、基金の取り崩し方には今後留意すべきとなる。

現段階では知識を得たという側面が強いため、引き続き研修も利用し、理解を深め今後の審議に活かして行きたいと思う。